

令和 6 年度 事業報告書

社会福祉法人 可児市社会福祉協議会

目 次

① 法人運営事業拠点	
1 法人運営事業	P 1
1-1 一般管理業務	P 3
1-2 福祉推進	P 5
1-3 地域支え愛ポイント制度	P 12
2 共同募金事業	P 12
② 受託事業等拠点	
1 地域包括支援センター	P 16
2 障がい者生活支援事業	P 17
2-1 障がい者生活支援センター「ハーモニー」	P 17
2-2 障がい者基幹相談支援センター	P 18
2-3 福祉リフトカー貸出事業	P 19
3 老人福祉センター福寿苑運営事業	P 20
4 生活サポートセンター	P 21
4-1 生活困窮者自立支援事業	P 21
4-2 心配ごと相談事業	P 22
4-3 生活福祉資金貸付事業	P 22
4-4 ず～っとあんき支援事業	P 22
③ 介護サービス事業拠点	
1 居宅介護支援事業	P 24
2 訪問介護事業	P 24
3 計画相談支援事業	P 26
④ 障がいサービス事業拠点	
1 ふれあいの里可児就労継続B	P 27
2 ふれあいの里可児生活介護	P 28
2-1 支援班	P 28
2-2 生活班	P 29

関連事業	
1 岐阜県共同募金会可児市支会の運営	P 30
2 日本赤十字社岐阜県支部可児市地区の運営	P 30

法人運営事業拠点

1 法人運営事業

令和6年度決算の総括表

資金収支計算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位：円)

拠点区分	サービス区分	当年度収入額 A	当年度支出額 B	当年度資金 収支差額 C (A - B)
①法人運営事業拠点	○法人運営事業 ・一般管理業務・福祉推進・地域支え愛ポイント制度 ・生活支援コーディネーター事業・福祉基金事業等 ○共同募金事業	122,737,078	121,104,766	1,632,312
②受託事業等拠点	○地域包括支援センター ○障がい者生活支援事業 ・障がい者生活支援事業・福祉リフトカー貸出事業 ○老人福祉センター福寿苑運営事業 ○生活サポートセンター ・生活困窮者自立支援事業・心配ごと相談事業 ・生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業 ・法人後見事業	130,669,601	120,392,019	10,277,582
③介護サービス事業 拠点	○居宅介護支援事業 ○訪問介護事業 ○計画相談支援事業	69,283,626	56,602,847	12,680,779
④障がいサービス事業 拠点	○ふれあいの里可見就労継続B ○ふれあいの里可見生活介護 ・支援班・生活班	101,645,950	103,541,892	△1,895,942
内部取引消去		△15,820,944	△15,820,944	0
合 計		408,515,311	385,820,580	22,694,731

貸借対照表

(令和7年3月31日)

(単位：円)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
預金	355,270,490	事業未払金	30,989,499
事業未収金	32,117,199	職員預り金	780,493
預け金	186,509	賞与引当金	14,128,857
前払金	50,000	退職給付引当金	88,291,598
建物（基本財産）	62,208,000	負債の部合計	134,190,447
基本財産特定預金	10,000,000	純資産の部	
機械及び装置	2	基本金	10,000,000
車輛運搬具	3,063,515	国庫補助金等特別積立金	52,435,628
器具及び備品	3,814,386	福祉基金積立金	123,865,657
リサイクル料金預託金	48,210	災害時支援・対応基金積立金	88,799,628
ソフトウェア	2,862,055	修繕積立金	16,008,398
投資有価証券	10,000	次期繰越活動増減差額	312,377,636
退職給付引当資産	39,373,345		
修繕積立資産	16,008,398		
福祉基金積立資産	123,865,657		
災害時支援・対応基金積立資産	88,799,628	純資産の部合計	603,486,947
資産の部合計	737,677,394	負債及び純資産の部合計	737,677,394

1-1 一般管理業務

会費・寄付金（財源：会費）

（1）会費

可児市社会福祉協議会（以下「市社協」といいます。）では、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるために、地域の方々の積極的な福祉活動への参加をお願いしています。

また、福祉活動を支える財源として、市社協の活動に賛同していただいた世帯や事業所などに会費の納入をお願いしています。賛同していただいた世帯を一般会員、法人・団体を特別会員と称しています。

区 分	令和 6 年度		令和 5 年度		令和 4 年度	
	会員数	実績額	会員数	実績額	会員数	実績額
一般会員 (500 円)	18,241 世帯	9,125,386 円	19,199 世帯	9,598,018 円	20,307 世帯	10,149,595 円
法人会員 (10,000 円)	131 法人	1,375,582 円	136 法人	1,385,000 円	134 法人	1,371,000 円
合 計		10,500,968 円		10,983,018 円		11,520,595 円

（2）寄付金

個人、自治会、諸団体、企業等から篤志として、次のとおり寄付金をいただきました。

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
一般寄付金	1,158,505 円	1,530,233 円	1,683,967 円
指定寄付金	71,000 円	45,000 円	2,847,000 円
合 計	1,229,505 円	1,575,233 円	4,530,967 円

理事会・評議員会（財源：会費）

効果的な事業運営や組織活動を展開するために、法令、定款等の定めにより、次のとおり理事会と評議員会を開催して、事業内容等を審議・決定しました。

（1）評議員会

第 1 回開催日：令和 6 年 6 月 26 日（定時評議員会）

- 議案：第 1 号 令和 5 年度事業報告について
 第 2 号 令和 5 年度収支決算報告について
 第 3 号 令和 6 年度第 1 次補正予算について
 第 4 号 辞任に伴う理事の選任について
 第 5 号 可児市社会福祉協議会会員・会費規程の一部改正について

第 2 回開催日：令和 6 年 12 月 26 日（書面同意によるみなし決議）

- 第 6 号 令和 6 年度第 2 次補正予算について

第3回開催日：令和7年3月25日

- 議案：第7号 令和7年度事業計画について
第8号 令和7年度予算について
第9号 可児市社会福祉協議会役員の報酬等に関する規程の一部改正について

(2) 理事会

第1回開催日：令和6年6月11日

- 議案：第1号 令和5年度事業報告について
第2号 令和5年度収支決算報告について
第3号 令和6年度第1次補正予算について
第4号 理事の辞任に伴う理事候補者の推薦について
第5号 副会長の選定について
第6号 評議員の辞任に伴う補欠候補者の推薦について
第7号 可児市社会福祉協議会会員・会費規程の一部改正について
第8号 定時評議員会の招集について
第9号 評議員選任・解任委員会の招集について

第2回開催日：令和6年7月16日

- 議案：第10号 被表彰者の選考について
報告 第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況について

第3回開催日：令和6年12月17日（書面同意によるみなし決議）

- 議案：第11号 令和6年度事業中間報告について
第12号 令和6年度第2次補正予算について
第13号 評議員会の招集について

第4回開催日：令和7年3月12日

- 議案：第14号 令和7年度事業計画について
第15号 令和7年度予算について
第16号 任期満了に伴う苦情解決に関する第三者委員の選任について
第17号 可児市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
第18号 可児市社会福祉協議会役員の報酬等に関する規程の一部改正について
第19号 契約の執行について
第20号 評議員会の招集について
報告 第2号 会長及び常務理事の職務の執行状況について

評議員選任・解任委員会（財源：会費）

法令、定款等の定めにより、次のとおり評議員選任・解任委員会を開催して、評議員を選任しました。

第1回開催日：令和6年6月13日

- 議案：第1号 評議員の選任について

1-2 福祉推進

かに社協だより「こころん」の発行（財源：会費）

社協だより「こころん」を隔月で発行し、市社協のさまざまな取り組みを紹介しました。

なお、視覚障がい者のために、同紙の音訳を「音訳・ヴォイスの会」に委託し、音声版を作成してホームページに掲載しています。

発行回数：年6回（偶数月の1日に発行）

「こころん」の着ぐるみによる啓発活動（財源：会費）

社協活動を市民に広くPRし、親しんでいただくことを目的として、市社協のマスコットキャラクター「こころん」の着ぐるみを活用した啓発活動をイベント等で行いました。

可児市社会福祉大会・社協セミナー（財源：会費）

可児市社会福祉大会を開催し、可児市の福祉に貢献された方、共同募金に多額の浄財を寄付していただいた方、日本赤十字社の活動にご協力いただいた方の表彰を行いました。

また、大会後に開催した社協セミナーでは、歌手の木山裕策氏を講師として招き、『がんが教えてくれたこと』～自分に向きあって見つけた夢～と題して、講演をいただきました。

開催日：令和6年9月14日（土）

聴講者：約400人

表彰等の件数

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
市社協会長表彰・感謝	50件	38件	47件
岐阜県共同募金会可児市支会長表彰・感謝	119件	126件	120件
日本赤十字社岐阜県支部可児市地区表彰	18件	12件	17件
合 計	187件	176件	184件

件数：個人及び団体数

ホームページ及びSNSの活用（財源：会費）

ホームページと、FacebookやInstagramにより、市社協事業をはじめ、地区社協行事や地域のボランティア活動等の周知に努めました。また、ボランティア募集などのボランティア中心とした情報を発信するためにLINEを活用しました。

ボランティア活動の支援（財源：会費）

（1）ボランティア活動者（個人・団体）への支援

ボランティア活動を始めたい人、ボランティアを必要とする人や、福祉施設・団体等からの相談を受け、ボランティア情報の提供や調整をしました。その中で必要に応じて、ボランティア保険の加入受付、備品の貸出しを行いました。

また、可児市福祉センター内の掲示板や市社協ホームページ内のコーナーでボランティア情報を掲示するほか、可児市社協ボランティアセンターとしてLINE公式アカウント、FacebookやInstagramでもボランティア活動に関する情報の発信を行いました。

ボランティア登録数

区 分		令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
新規登録	個 人	98 人	46 人	48 人
	団体（人数）	9 団体 (51 人)	4 団体 (32 人)	12 団体 (147 人)
年度末 登録数	個 人	264 人	166 人	120 人
	団体（人数）	92 団体 (2,004 人)	102 団体 (2,375 人)	116 団体 (2,561 人)

(2) ボランティアコーディネート

個人、地域、学校等からのボランティアの依頼に対し、活動できる個人、団体をコーディネートしました。

ボランティアコーディネート件数

区 分		令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
依頼元	個 人	2 件	1 件	4 件
	団 体	84 件	42 件	42 件
コーディネート件数		86 件	43 件	43 件

(3) ボランティア連絡協議会の支援

市内のボランティア団体が交流のうえ、情報交換を行いながら課題を共有し、その解決を図るとともに、会員の資質向上と地域福祉の推進を目的とするボランティア連絡協議会の活動を支援しました。

(4) 「福祉授業サポーター養成講座」の開催

市内の小中学校が行う福祉学習の場に社協職員とともに、子どもたちの見守り、体験をサポートするボランティアを養成するための講座を開催しました。

開 催 日：令和 6 年 11 月 8 日、11 月 15 日

場 所：可児市福祉センター

延べ参加者数：17 人

(5) 切手の整理ボランティアの支援

整理や仕分けをした使用済み切手を売却して、福祉に還元する切手の整理ボランティア活動を継続できるように支援しました。また、無印良品ヨシヅヤ可児のオープンスペースを活用して「切手の整理ボランティア体験会」を開催し、ボランティアの啓発とボランティア相談会を開催しました。

活 動 日：毎月第 2・4 月曜日（体験会開催日：8 月 26 日、9 月 23 日）

場 所：可児市福祉センター（体験開催場所：無印良品ヨシヅヤ可児）

（体験会参加者数：延べ 10 人）

(6) 傾聴ボランティアの支援

令和5年度に実施した「傾聴ボランティア講座」受講者の有志が定期的に行っている市内の高齢者施設での傾聴ボランティア活動を支援しました。

参加者数：8人

訪問施設数：3施設

福祉教育の推進（財源：会費）

(1) 福祉に関する学習への支援

市内小・中学校等からの依頼に応じ、「車いす」「ガイドヘルプ」「高齢者擬似体験」等福祉体験の実施や講師の紹介、福祉体験用具の貸出しなどを行うことにより、福祉に関する理解の普及を図るとともに、福祉教育の推進に取り組みました。推進にあたり「福祉教育ハンドブック」を更新しました。

実施件数

項 目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
福祉講座	42 件	40 件	27 件
福祉体験用具貸出し	12 件	5 件	10 件

(2) 福祉ドキドキ・わくわく体験

さまざまな立場の人との出会いを通して、福祉に対する理解を深め、子ども達の温かい心を育むことを目的として、市内の小学4～6年生を対象に福祉ドキドキ・わくわく体験を開催しました。体験には偏りがないように様々な分野の内容で企画しました。また、親子参加を可能としたため、子どもだけではなく大人にも福祉を知って体験してもらえる機会となりました。高校生・大学生に運営のボランティアとして協力していただきました。参加者は延べ123人でした。

実施内容

日にち	内 容	開催方法（場所）	参加者数
7月27日	「認知症キッズサポーターになろう！」	可児市福祉センター	29人
7月30日	「盲導犬ってどんな犬？」	春里地区センター	60人
8月6日	「シッティングバレーを体験しよう！」	広見東地区センター	18人
8月9日	「明里さんと一緒にふくしマークを学ぼう！」	可児市福祉センター	16人

地区社会福祉協議会活動の支援

(1) 地区社会福祉協議会（以下「地区社協」といいます。）への助成

（財源：社協会費、共同募金配分金、日赤会費配分金）

各地区社協に活動のための助成金を交付しました。各地区社協では、助成金を財源の一部として、さまざまな活動を行いました。

令和 6 年度助成金交付額

（単位：円）

地区社協名	社協福祉推進事業			共同募金事業		社協計 ①	日赤会費 配分金額 ②	合 計 ①+②
	均等割	一般会費	特別会費	均等割	実績割			
今 渡	80,000	113,000	27,000	70,000	68,000	358,000	39,000	397,000
川 合	80,000	84,000	30,000	70,000	50,000	314,000	29,000	343,000
下恵土	80,000	164,000	33,000	70,000	86,000	433,000	57,000	490,000
土 田	80,000	131,000	63,000	70,000	76,000	420,000	45,000	465,000
帷 子	80,000	437,000	12,000	70,000	159,000	758,000	153,000	911,000
春 里	80,000	136,000	30,000	70,000	80,000	396,000	46,000	442,000
姫 治	80,000	95,000	39,000	70,000	54,000	338,000	33,000	371,000
平 牧	80,000	251,000	36,000	70,000	103,000	540,000	75,000	615,000
桜ヶ丘ハイツ	80,000	164,000	3,000	70,000	78,000	395,000	56,000	451,000
久々利	80,000	44,000	6,000	70,000	26,000	226,000	15,000	241,000
広見東	80,000	59,000	12,000	70,000	36,000	257,000	20,000	277,000
広 見	80,000	142,000	79,000	70,000	84,000	455,000	49,000	504,000
中恵土	80,000	57,000	9,000	70,000	42,000	258,000	20,000	278,000
兼 山	80,000	37,000	0	70,000	23,000	210,000	13,000	223,000
計	1,120,000	1,914,000	379,000	980,000	965,000	5,358,000	650,000	6,008,000

※均等割額として一律の金額を算定し、その後各地区社協での前年度実績額に応じて助成金を算定し、交付しています。算定内訳は次のとおりです。

市社協から：均等割額 80,000 円 一般会費実績額の 20% 特別会費実績額の 30%
 共同募金から：均等割額 70,000 円 赤い羽根募金実績額の 10%
 日赤から：会費実績額の 7%

各地区社協では、次のような事業が行われました。

地区社協	令和 6 年度に実施された主な事業
今 渡	ふれあいコンサート、ご長寿をお祝いする会、友愛訪問事業、子育てサロン「いまっこ」、出張サロン
川 合	かわいおしゃべりカフェ、子育てサロン「スマイリー」、高齢者のつどい、友愛訪問事業、にこにこコンサート、みんな DE 映画＆ランチ会

下 恵 土	地域福祉サービスメニュー事業、子育てサロン「どんぐり」、夏休み福祉講座、福祉講座（相続・腸活料理）
土 田	地域サロンへの助成、ふらっとカフェどた、身障協会との交流会、子育て応援事業（World Day in DOTA 開催）、ふれあい訪問、地区社協だより発行
帷 子	高齢者送迎サービス事業、高齢者安全運転講習会、認知症サポーター養成講座、地域福祉サービスメニュー事業、室内シアター、子ども講座、高齢者講座、送迎ボランティア意見交換会と交流会
春 里	サロン交流会、高齢者給食サービス事業、各種団体への活動助成
姫 治	長寿の祝い（記念品配布）、姫治コミュニティ農園「ひめほっこり」、姫治地区支え合い活動（生活支援）、姫治こども縁日
平 牧	平牧地区支え合い活動（生活支援）、長寿のお祝い記念品配布、サロン・平牧（出張サロン）、さぼたん農園、ひまわりプロジェクト、サロン交流会、ボランティア交流会
桜ヶ丘 ハイツ	家事支援「この指と～まれ」、喜寿のお祝い、広報紙発行、「みんなの家」の運営、ハイツカフェ、移動支援、買物配達支援、秋のバザー&マルシェ、年末挨拶訪問、節分祭、高齢者見守り安心コール、みんなの家、夏休み寺子屋、地域見守り散歩
久々利	長寿のつどい、友愛訪問事業、クリスマス会、泳サロン「さくらいそう」（出張サロン）、ごみ出し支援事業
広見東	おしゃべりサロン東縁、長寿の祝い事業、携帯用名札配付、身障協会との交流会、サロンスタッフ研修会、クリスマス会
広 見	ほっとサロンゆい、移動喫茶、ボランティア運転講習会、友愛訪問事業、サロン代表者会議、サロン交流会、おとしごろたいむ、サロン年末見舞、コミュニティバス活用講座、初めてのスマホ教室、広報誌「ゆい通信」の発行
中恵土	ふれあい農園事業、中恵土サロン de なかえ〜ど、長寿の祝い、まちかど運動教室協力、出張サロン
兼 山	高齢者昼食サービス、サロン送迎支援協力、こども夏まつり、地域福祉のつどい

(2) 地区社協日常支援活動推進事業助成

地域における支え合いシステム構築のため、地区社協が地域に根ざした継続的事業を実施するための支援として、赤い羽根共同募金配分金による助成を行いました。

助成件数：3件 助成額：820,000円

<助成先>

- | | | |
|------------------|------------------|----------|
| ・帷子地区社会福祉協議会 | ：帷子地区高齢者送迎サービス事業 | 384,000円 |
| ・平牧地区社会福祉協議会 | ：平牧地区支え合い活動 | 52,000円 |
| ・桜ヶ丘ハイツ地区社会福祉協議会 | ：地区社協みんなの家運営事業 | 384,000円 |

(3) 地区社協活動の支援（財源：会費）

地域福祉活動を効果的に推進するため、フォーラムへの参加や地区社協の現状や運営について代表者による情報交換を行いました。

○県社協主催「福祉のまちづくりフォーラム 2024」への参加

開催日：令和6年10月16日

場所：長良川国際会議場

参加者数：6人

目的：自分たちの地域で暮らしていくために私たちに何かできるかを考える

○地区社協代表者情報交換会

開催日：令和6年7月22日・令和7年3月4日

場所：可見市福祉センター

延べ参加者数：23人

内容：各地区社協の活動状況に関する意見交換

(4) 地域福祉懇話会の開催支援（財源：会費）

全ての地区での開催はできませんでしたが、地区によっては自治会単位で開催したり、サロンのボランティアを中心に開催したりするなどされました。

実施地区：13地区

(5) 生活支援コーディネーター業務の受託（財源：市受託金他 24,763,034円）

第1層及び第2層生活支援コーディネーター業務を市から受託し、第1層と第2層の業務を一体的に進めました。また、地域包括ケアシステムの構築を目指し、市と定期的に打合せを行うとともに市が主催する「あんしんづくりサポート委員会」（第1層協議体）に出席しました。

市と第1層及び第2層生活支援コーディネーターの打合せ：12回

あんしんづくりサポート委員会への出席回数：11回

福祉用具による生活支援（財源：会費）

(1) 福祉用具の貸出

緊急または一時的に車椅子や杖、入浴補助具などの福祉用具が必要になった場合に無償で貸し出しました。

貸出し用具：車いす、ポータブルトイレ、シャワーイス、歩行杖、歩行器等

(2) ヨヨネット（福祉用具のリサイクル）

福祉用具を譲ってほしい人と譲りたい人の情報を仲介し、福祉用具の有効活用を図りました。

利用実績

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
(1)福祉用具の貸出	374 件	369 件	387 件
(2)ヨヨネット	44 件	51 件	36 件

緊急法外援護（財源：会費）

緊急に援護する必要がある行旅病人等に対し、市と協力して一時的な援護を行いました。

援護状況

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
支援件数	9 件	12 件	13 件
支援金額	71,260 円	181,200 円	161,950 円

短期特別貸付（財源：会費）

他からの資金の融資を受けることが困難な低所得世帯の災害、疾病、その他緊急の場合に、その世帯の経済的自立を図るため、10 万円を限度として短期的に資金を貸し付ける特別貸付制度です。

貸付状況

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
貸付件数	0 件	0 件	0 件
貸付金額	0 円	0 円	0 円

学習支援教室の実施（財源：会費）

ひとり親家庭等の小中学生を対象に、ボランティアに協力をいただきながら、学びをサポートするための学習支援教室を実施しました。

開催日：毎週月曜日（祝日除く） 17 時～19 時

開催日数：44 回 参加者：延べ 535 人

福祉施設災害準備支援事業の実施

お互いの施設を可能な範囲で一時的な避難の利用や、それに付随する設備や備品を利用することでの利用者の安全確保を目的とした「災害時における一時避難等の相互利用に関する協定」を新たに 7 施設と締結し、可見市・御嵩町で合わせて 87 施設となりました。

また、運営する法人や事業所が、災害時に備えを進めることができるように、福祉防災コミュニティ協会の湯井氏を講師にお招きし、事業継続計画（BCP）の基本的な考え方などを学ぶ講座を令和 6 年 10 月 25 日に開催し、23 施設 33 人の方にご参加いただきました。

1-3 地域支援愛ポイント制度（財源：市受託金 2,575,100 円）

市民が、ボランティア活動を通して地域貢献と子育て世代の安心づくりや高齢者の安気づくりを目指す事を目的として、可見市が平成 26 年度から開始した地域支援愛ポイント（K マネー）制度のうち、ボランティア付与団体及びボランティア活動者の登録、ポイントから K マネーへの交換業務を担うなど、制度の普及啓発と併せ、ボランティア活動の拡充を図りました。

登録者数等

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
ポイント付与団体	222 団体	210 団体	216 団体
ボランティア登録（個人）	3,081 人	2,923 人	2,609 人
内ポイント交換者数	930 人	804 人	599 人
K マネー交換金額	3,818 千円	3,297 千円	2,259 千円

2 共同募金事業（財源：共同募金配分金 7,170,580 円）

災害ボランティア

（1）災害ボランティアセンター

災害発生時に災害ボランティアセンターを迅速に立ち上げ、効果的な災害対応につなげるために、協定の締結や訓練、講座等を企画しました。

また、災害ボランティアセンターの運営支援を目的とする可見市災害ボランティアサポートの活動を支援しました。

○災害ボランティアセンター設置・運営訓練

開 催 日：令和 6 年 6 月 1 日

場 所：可見市文化創造センターala 美術ロフト・演劇ロフト

参加人数：67 人（見学 8 人）

参加団体：可見市災害ボランティアサポート、可見市高齢福祉課、可見市防災安全課、
可見市 NPO 協会、可見市国際交流協会、可見ライオンズクラブ、可見市ボ
ランティア連絡協議会、岐阜県社協、可茂圏域社協、多治見市社協、

（2）「災害ボランティア講座」の開催

地震や豪雨などの自然災害発生時に災害ボランティア活動を円滑に進められる体制を構築することを目的に、「可見市災害ボランティア講座」を初心者向けの体験と、経験者向けの講演会の二部構成で開催しました。

体験では、災害ボランティアセンターの役割や被災写真洗浄を体験しました。

講演会では、災害ボランティアセンターの役割や災害ボランティアの心構えなどについて講演いただき学びました。

【体 験】：災害ボランティア活動を体験してみよう！

開 催 日：令和 7 年 1 月 18 日

場 所：広見東地区センター

講 師：あらいぐま可見

参加人数：3 人

【講演会】：災害ボランティア講演会

開催日：令和7年1月19日

場所：可児市福祉センター

講師：オフィス園崎 園崎 秀治 氏

参加人数：21人

(3) 能登半島地震の被災地支援活動

全国社会福祉協議会と東海北陸ブロック社会福祉協議会の協議のもと岐阜県社会福祉協議会は石川県珠洲市を支援することになり、当社協からも職員を派遣しました。

支援先：石川県珠洲市社会福祉協議会

業務内容：災害ボランティアセンターの運営支援

派遣人数：5人

福祉協力校・園の指定

福祉に関する学習や体験・交流などを通して社会福祉への理解と関心を深め、社会奉仕や社会連帯の精神を育む教育の実践を目的として、福祉協力校・園を指定しています。

また、福祉協力校・園には、福祉に関する学習に対し、助成を行いました。

指定校・園数：保育園・幼稚園・認定こども園18園 小学校12校

中学校6校 高等学校3校

助成件数：23件

助成額：716,325円

住民福祉活動の支援

(1) ふれあい・いきいきサロンの普及支援

住民主体による地域の集いの場であるふれあい・いきいきサロンに対し、運営の助言を行い、助成等の支援を行いました。今年度は、新たにサロンの立ち上げ時に活用できる助成制度を創設しました。また、サロンのボランティアを対象に、研修会を開催しました。

サロン登録件数：118件

(高齢者サロン、子育てサロン、子ども食堂、学習支援サロンの合計件数)

新規登録件数：12件

ふれあい・いきいきサロン普及助成 助成件数：38件 助成額：763,289円

立ち上げ助成 助成件数：2件 助成額：39,742円

実施したサロン研修会

開催日	内 容	参加人数
5月9日	ココロとカラダの健康ひろば（座ってできるレクリエーション）	26人
7月17日	子ども食堂交流会	18人
12月5日	プルタブを使ったブローチづくり	21人
2月21日	「演奏ボランティアによる活動紹介」	83人

○高齢者・多世代サロンの普及支援

高齢者やいろいろな世代が気軽に集える場づくりを通じて、閉じこもり予防や見守りを目的としたサロンに支援を行いました。

サロン登録件数のうち高齢者・多世代サロン：88 件

新たに登録された高齢者・多世代サロン：10 件

- | | |
|-----------------|---------------|
| ・サロンコーヨー（帷子） | ・緑ヶ丘サロン（平牧） |
| ・トーキョーコーヒー（帷子） | ・脳トレ麻雀サロン（川合） |
| ・ときめきサロン（広見） | ・サロンしゅうが（春里） |
| ・ユーアイサロン（帷子） | ・あかりサロン（下恵土） |
| ・おしゃべりサロン M（春里） | ・MCIO（今渡） |

○子育てサロンの普及支援

子育て中の親同士が気軽に集い、仲間づくりと情報交換の場を提供することを目的としたサロンに支援を行いました。

サロン登録件数のうち子育てサロン：13 件

○子ども食堂の普及支援

みんなで食べる楽しさとバランスの良い食事を提供することを目的としたサロン（子ども食堂）に支援を行いました。

サロン登録件数のうち子ども食堂：13 件

新たに登録された子ども食堂：2 件

- ・防災子ども食堂（春里）
- ・ごちゃまぜ食堂（川合）

○学習支援サロンの普及支援

学習の習慣付けや高校等への進学に向けた学習支援を行うことを目的としたサロンに支援を行いました。

サロン登録件数のうち学習支援サロン：4 件

（2）福祉のまちづくりへの助成

赤い羽根まちづくり活動助成事業として、自治会やボランティア団体が主となって行う地域福祉推進活動に対し助成を行いました。

赤い羽根まちづくり活動助成 助成件数：43 件 助成額：612,301 円

（3）福祉団体への活動助成

助成件数：7 件 助成額：1,130,000 円

<助成先>

・ 可児市民生児童委員連絡協議会活動事業	180,000 円
・ 可児市民生児童委員連絡協議会子育てサロン運営事業	330,000 円
・ 可児市ボランティア連絡協議会	380,000 円
・ 岐阜県身体障害者福祉協会可児支部	60,000 円
・ 可児市健友連合会	60,000 円
・ 可児市保育協会	60,000 円
・ 可児市母子寡婦福祉連合会	60,000 円

歳末たすけあい事業

民生委員・児童委員の協力を得て、下記の世帯へ「友愛訪問」を行い、準要保護世帯には歳末見舞金（地域通貨Kマネー）、75歳以上のひとり暮らし世帯には歳末見舞品を配付しました。

対象件数等

区 分	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
準要保護世帯	416 件	1,251,154 円	399 件	1,208,496 円	398 件	1,210,145 円
75歳以上の ひとり暮らし世帯	1,277 件	702,350 円	1,293 件	713,304 円	1,223 件	672,650 円
合 計	1,693 件	1,953,504 円	1,692 件	1,921,800 円	1,621 件	1,882,795 円

生活物品等緊急給付事業

（1）緊急食料等給付

緊急に食料の援護を必要とする人に、3日分程度の食料（米、レトルト食品、缶詰等）を給付しました。

給付状況

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
延べ給付件数	37 件	21 件	26 件

※フードドライブなどの寄付でいただいた食料を給付しています。

（2）フードバンクとの提携による食料支援（財源：生活困窮）

岐阜県社会福祉協議会と特定非営利活動法人セカンドハーベスト名古屋との業務提携をもとに食料支援をしました。

支援状況

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
延べ支援件数	85 件	92 件	39 件
配 送 料	212,500 円	230,000 円	97,500 円

※1件あたり2～3週間分の食料（配送料は市社協が負担しています。）

※特定非営利活動法人セカンドハーベスト名古屋は、食材メーカーや生協と連携し、企業から廃棄されそうになる食品を生かし、生活困窮者支援に取り組んでいる団体です。

➤ 受託事業等拠点

1 地域包括支援センター（財源：市受託金・介護保険収入等 44,605,140 円）

可児市北部地域包括支援センター

地域住民（主として高齢者）の心身の健康維持や生活の安定、保健・福祉・医療の向上、虐待の防止など、さまざまな課題に対して総合的なマネジメントを担い、解決に向けた取り組みを行いました。

（１）対象地域

北部地域（今渡、川合、下恵土、兼山）

（２）対応件数

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
総合相談	2,479 件	2,087 件	2,414 件
ケアマネジャー支援	460 件	181 件	159 件
高齢者虐待相談	36 件	46 件	103 件
プラン作成	2,472 件	2,425 件	2,304 件

（３）連携事業等の実施

市内 6 地域の包括支援センター間の連携・協力を行うため、各種事業を実施しました。

・ケアネット可児への参画	10 回
・地域包括支援センターだよりの発行	12 回
・運営推進会議への参加	42 回
・認知症サポーター養成講座	4 回
・講話（老人会等）	15 回
・地域ケア個別会議	2 回
・もの忘れ困りごと相談	8 回
・認知症カフェ（介護のつどい）	5 回
・アルツハイマー月間パネル展示	2 回（うち共催 1 回）
・知って備えて“認知症”講座	2 回（2 回とも共催）

2 障がい者生活支援事業

2-1 障がい者生活支援センター「ハーモニー」

(財源：市受託金 30,730,184 円 障がい者基幹相談支援センター分含む)

障がい者の自立と社会参加促進のため、相談支援、生活支援などを行いました。

来所者数

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
延べ来所者数	2,923 人	2,796 人	3,403 人

(1) 障がい（身体・知的・精神等）に関する相談支援

相談内容

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
職員との相談	6,810 件	8,293 件	8,559 件
ピアカウンセリング	504 件	620 件	604 件
合 計	7,314 件	8,913 件	9,163 件

※ピアカウンセリング：障がい者や障がい者の家族が相談員として、相談に応じます。

相談内容の内訳

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
福祉サービスの利用等	5,509 件	6,360 件	6,095 件
障がいや病状	34 件	85 件	54 件
健康・医療	353 件	553 件	528 件
傾聴（不安解消・情緒不安）	537 件	495 件	915 件
保育・教育	2 件	3 件	8 件
人間関係・家族関係	57 件	86 件	69 件
家計・経済	139 件	80 件	69 件
生活技術	63 件	58 件	77 件
就労	359 件	795 件	745 件
社会参加・余暇活動	81 件	119 件	164 件
権利擁護	22 件	23 件	19 件
連絡調整	76 件	152 件	221 件
その他	82 件	104 件	199 件
合 計	7,314 件	8,913 件	9,163 件

(2) 障がい支援区分の認定調査

障がい支援区分の認定のため、サービスの利用申請者への面談調査、認定関係書類を作成しました。

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
調査件数	33 件	38 件	37 件

(3) 教室の開催

障がい者の社会参加を促進するため、スポーツ・レクリエーション教室、芸術・文化講座等を開催しました。

教 室 名	延べ参加人数	開 催 日	回 数
手ことば教室	53 人	第 1 火曜日	10 回
パソコン教室	777 人	毎週水曜日	44 回
日曜パソコン教室	22 人	奇数月第 4 日曜日	6 回
音楽療法	58 人	第 2 火曜日	10 回
ふれ愛教室（作品作り等体験型講座）	27 人	第 4 木曜日	5 回
スポーツ教室	102 人	第 4 金曜日	10 回

(4) 助成券の交付

血液透析患者や重度障がい者（児）が、社会参加する際のタクシー料金や自家用車の燃料費の一部を補助するために、可児市が発行する社会参加助成券の交付窓口として協力しました。

交付状況

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
重度障がい者（児）社会参加助成券	497 件	537 件	575 件
血液透析通院患者交通助成券	29 件	38 件	37 件

2-2 障がい者基幹相談支援センター

可児市障がい者基幹相談支援センターを市福祉支援課に併設しています。障がいに関する相談及び助言、市内の相談支援事業者間の連絡調整や関係機関との連携など、地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを適切に運営しました。

(1) 相談支援

基幹相談支援センターとして、総合的・専門的な相談業務を実施しました。

相談件数

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
関係機関 （事業所、行政、教育・医療機関、就労機関等）	1,033 件	1,385 件	1,359 件
個 人	728 件	714 件	787 件
合 計	1,761 件	2,099 件	2,146 件

(2) 支援会議

支援困難者に対して、地域の関係機関や障害福祉サービス事業所が連携して適切な支援を行っていくことを目的として、情報を共有し、支援の方向性等を検討するための会議を必要に応じて開催しました。

開催状況

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
支援会議	64 回	21 回	25 回

(3) 部会

① 相談支援部会

地域の相談支援従事者の人材育成のため、市内の相談支援事業所を対象に事例検討や情報提供等を行う部会を開催し、相談支援従事者のスキルアップを図りました。

② 児童支援部会・就労支援部会

児童支援部会、就労支援部会の進め方について検討し、地域課題に取り組める体制がとれるよう進めました。

③ 事業所連絡会（児童・就労）

事業所間の情報交換ができるように会を開催し、現状や困り事等の意見交換を行いました。

開催状況

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
相談支援部会	12 回	22 回	23 回
児童支援部会・就労支援部会	4 回	4 回	0 回
事業所連絡会（児童・就労）	2 回	2 回	0 回

(4) 交流サロン

知的障がい、発達障がいの方やその家族を対象に、知的障がい相談員と連携し、悩みの相談、情報交換を行う交流サロン（相談会）を感染症防止対策をして開催しました。

開催状況

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
交流サロン	9 回	12 回	11 回

2-3 福祉リフトカー貸出事業（財源：市補助金 1,083,812 円）

車いすで生活されている方や寝たきりの方などを対象に、車いすのまま乗車できるリフトカー「やすらぎ号」を、通院や日常生活等で必要な場合に無償で貸し出しました。

利用実績

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
福祉リフトカー貸出	438 件	404 件	324 件

3 老人福祉センター福寿苑運営事業（財源：指定管理料収入等19,005,952円）

可見市老人福祉センター福寿苑の運営

市の指定管理者として、感染症防止対策を行いながら利用者が安心安全に利用できるよう施設の適正な管理運営を行いました。

利用状況

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
団 体 (延べ人数)	43 団体 (9,985 人)	44 団体 (9,508 人)	40 団体 (8,257 人)
個 人	8,911 人	8,399 人	7,008 人
その他（視察等）	38 人	0 人	0 人
合 計	18,934 人	17,907 人	15,265 人
1 日平均利用者数	78 人	75 人	63 人

主催教室の開催状況

開催教室	回 数	参加者(延べ)	開催日
生花教室	12 回	100 人	第4月曜日
民踊教室	24 回	349 人	第2・4水曜日
ヨガ教室	24 回	460 人	第1・3火曜日
健康体操教室	23 回	444 人	第1・3火曜日
太極拳教室	23 回	347 人	第1・3木曜日
漢方健康教室	12 回	159 人	第3木曜日

主催講座の開催状況

開 催 教 室	回数	受講者 (延べ)	開 催 日
シニア向けスマホ教室	3 回	39 人	5/15、5/29、5/29
脳トレ教室「ボケないゾウ!」	5 回	69 人	5/24、6/28、7/26、8/23、9/27
「食事と運動から季節の変わり目も元気に!」講座	4 回	95 人	7/9、8/27、10/22、12/10
「幸令者向き 明日への人生設計」講座	1 回	19 人	9/18
脳トレ教室「ボケないゾウ!」第2弾	5 回	52 人	11/22、12/24、1/24、2/28、3/28
今から取り組もう!防災講座	3 回	41 人	11/18、11/22、11/28

シニア向けスマホ教室 第2弾	3回	35人	1/14、1/23、1/29
「撃退!!-高齢者を狙う悪質商法-」講座	1回	16人	2/25
シニア向けスマホ教室 第3弾	1回	20人	3/11

4 生活サポートセンター

4-1 生活困窮者自立支援事業

(財源：市受託金 生活困窮者自立支援事業 28,476,444 円)

利用者の自立に向けたプランニングを行う自立相談支援事業、離職等により経済的に困窮し住宅を喪失した方もしくは喪失する恐れのある方へ家賃を補助する住居確保給付金事業、家計の遣り繰りができなかつたり、多重債務に陥つたりしている世帯を対象に、家計再生を行う家計相談支援事業を行うとともに、就労の定着に困難をきたしている人を対象とした就労準備支援事業を令和4年4月から受託し、支援を行いました。

相談件数等

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
新規相談受付件数	90件	68件	18件
自立支援プラン作成件数	11件	5件	4件
自立相談支援相談延べ件数	1,871件	1,315件	895件
住宅確保給付金相談及び 申請延べ件数	127件	127件	328件
	住居確保給付金 (特例対応) 申請：2件	住居確保給付金 (特例対応) 申請：1件	住居確保給付金 (特例対応) 申請：10件
家計相談支援相談延べ件数	292件	261件	276件
就労準備支援相談延べ件数 ※令和4年4月1日から新規受託	1件	5件	220件
生活困窮者自立支援金相談 及び申請延べ件数	—	支援金の受付は 4年度終了	相談：723件 ※申請期間： 令和3年 7月26日から 令和4年12月31日まで 申請：245件 (内43件は再支給)

支援調整会議

利用者の自立を的確に支援するよう、月１回程度、各専門家を交えて支援調整会議を実施しました。

構 成 員：弁護士(法テラス可児)、ハローワーク就職支援ナビゲーター、市福祉支援課、市社協担当職員（その他、必要に応じ、地域包括支援センターなど専門職員が参加）

開催回数：１２回

4-2 心配ごと相談事業（財源：市受託金 305,100 円）

相続や家族の問題など、日常生活上の様々な心配ごとの相談に応じました。

日 時：第２・４火曜日午後１時～４時

実施日数：２４日

相 談 員：司法書士及び民生委員・児童委員

相談件数

区 分	令和６年度	令和５年度	令和４年度
相談件数	３５件	３０件	２６件

4-3 生活福祉資金貸付事業（財源：県社協受託金・補助金 1,802,494 円）

離職者等に対し、生活意欲の促進を図り安定した生活が営めるよう、岐阜県社会福祉協議会が実施する貸付事業に関し、市社協は貸付相談、貸付手続き、償還指導等を行いました。

※総合支援資金と緊急小口資金は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年３月２５日から令和４年９月３０日まで特例貸付（特例措置）を行いました。令和６年１０月からは、コロナ特例貸付を受けた人で未応答者への連絡及び償還困難な人への対応を目的として、フォローアップ支援事業相談を開始しました。

貸付状況等

区 分	令和６年度	令和５年度	令和４年度
貸付件数 （内 新規件数）	０件（０件）	２件（２件）	５件（５件）
	特例貸付受付終了	特例貸付受付終了	特例貸付９４件
資金の相談件数	１,１１０件	９００件	２,８９０件
コロナ特例貸付 フォローアップ支援 事業相談件数	Ｒ６年１０月～ １９件	_____	_____

4-4 ず～っとあんき支援事業

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らすことができるように、市民の権利を守るための事業を実施しました。

預託金によるサービス（死後事務委任）

事前に預託金を預かることにより、万が一の際の葬儀や家財処分などのサービスを実施します。また、契約者に対しては、定期的な見守りや入退院時等のサービス、書類預かりサービスも希望に応じて実施します。

相談状況

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
延べ相談対応件数	3 件	4 4 件	2 5 件
契約件数	0 件	0 件	0 件

入退院時支援サービス

入退院時に必要な支援をします。

相談状況

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
延べ相談対応件数	2 2 件	5 9 件	3 5 件
年度末契約件数	1 件	2 件	2 件

日常生活自立支援事業（財源：県社協受託金等 1,871,800 円）

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な人に対し、職員及び支援員により、預金の払い戻し、代金の支払いなどの金銭管理と福祉サービス利用の援助をしました。

支援状況

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
年度末利用者数	1 8 人	1 7 人	1 6 人
延べ相談対応件数	2,409 件	2,067 件	1,437 件

法人後見事業（財源：市補助金 120,000 円等）

判断能力が不十分な人に対し、市社協が本人に代わって法律行為などを行う成年後見人等を裁判所から受任することにより、日常生活の支援を行いました。また、成年後見制度に関する相談にも応じました。

相談対応・受任状況等

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
延べ相談対応件数	4 6 2 件	2 5 0 件	3 0 2 件
新規受任人数	1 人	1 人	1 人
終了人数	2 人	0 人	1 人
年度末時点受任人数	2 人	3 人	3 人

➤ 介護サービス事業拠点

1 居宅介護支援事業（介護保険収入等 16,834,018 円）

ケアマネジメント

要支援又は要介護の認定を受けた人の居宅サービス計画（ケアプラン）を作成しました。他の事業所の居宅介護支援専門員（ケアマネジャー）と意見交換を行い、資質及び意識向上に努めました。

利用者数

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
要介護 1	502 人	524 人	480 人
要介護 2	295 人	231 人	195 人
要介護 3	116 人	83 人	120 人
要介護 4	82 人	96 人	108 人
要介護 5	53 人	53 人	60 人
要 支 援	54 人	60 人	50 人
合 計	1,102 人	1,047 人	1,013 人

2 訪問介護事業（財源：介護保険収入等 24,027,509 円）

高齢者のホームヘルプサービス

要支援又は要介護の認定を受けた人が、住み慣れた居宅で可能な限り自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護サービス・介護予防訪問介護サービスを提供しました。

※実費利用は含まない。

利用状況

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
延べ利用者数	705 人	621 人	616 人
派遣時間数	3,864 時間	3,866 時間	3,949 時間

障がい者のホームヘルプサービス（総合支援居宅介護事業等）

（1）指定居宅介護・指定同行援護事業

障害者総合支援法に基づく居宅介護サービス、同行援護サービスを提供しました。

障がい者・児（身体・知的・精神の3障がい）が、一般能力や適性に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようサービスを提供するものです。

※実費利用は含まない。

利用状況

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
延べ利用者数	269 人	316 人	303 人
派遣時間数	1,531 時間	1,747 時間	1,890 時間

(2) 地域生活支援事業（移動支援サービス）

市町村が実施主体となる地域生活支援サービスに対応しています。

障がい者・児（身体・知的・精神の3障がい）が、社会生活上必要な外出及び余暇活動等の社会参加に関する外出に対し、その移動を個別に支援するものです。

利用状況

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
延べ利用者数	0人	0人	2人
派遣時間数	0時間	0時間	5時間

職員研修の実施

質の高いサービスを提供するために、毎月職員研修を行い能力向上に努めました。また、事業継続計画（BCP）マニュアルを作成し、毎年利用者が被災した場合の支援についてシミュレーションを行っています。

研修の実施状況

月	研 修 内 容	月	研 修 内 容
4	職業倫理、法令遵守、守秘義務、プライバシー保護、接遇	10	救急法（実技演習）
5	事故防止、緊急対応	11	認知症（認知症との関り）
6	虐待防止・身体拘束適正化について	12	障がい研修（事例から学ぶ）
7	感染症・食中毒（食中毒の基礎知識）	1	介護技術（心の介護技術）
8	栄養・調理	2	事例検討
9	BCP災害・感染対策	3	1年の反省・次年度に向けて

3 計画相談支援事業（財源：自立支援費等収入 28,422,099 円）

計画相談支援

特定相談支援事業所、障がい児相談支援事業所としての指定を受け、障がいのある大人や障がい児に対し、障がい福祉サービス利用計画や児童福祉サービス利用計画を作成し、一定期間ごとにモニタリングを行うなどの支援を行いました。

支援状況

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
特定相談サービス利用計画	367 件	292 件	168 件
特定相談モニタリング	884 件	863 件	619 件
障がい児相談サービス利用計画	140 件	126 件	69 件
障がい児相談モニタリング	111 件	89 件	61 件
合 計	1,502 件	1,370 件	917 件

➤障がいサービス事業拠点

1 ふれあいの里可児就労継続B

(財源：障害福祉サービス費等43,145,993円、就労支援事業収入8,411,719円)

就労や生産活動の機会を提供し、就労に必要な知識・能力の向上・維持のための訓練を行いました。

利用状況

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
利用者数	28人	29人	29人
延べ利用者数	5,679人	5,736人	5,511人

※定員：30人

作業活動

利用者の適性及び能力を考慮した班分けにより、就労の場を提供しました。就労支援事業収入は、材料費を除く全額を利用者に工賃として支給しました（月額平均27,863円。年度末一時金を含む）。令和6年度は施設入所と転居で2名が退所したことにより、延べ利用者数は減少しました。

施設内作業

- ・自動車部品の組立や菓子箱の箱折などの受託作業を行いました。新たにタオルたたみの作業を受託するなど、工賃の安定を図りました。
- ・クッキー、シフォンケーキなどの焼き菓子の製造を行いました。関係機関へチラシを配布しての受注販売や、市役所や企業、地域のお祭り等の出張販売を行いました。

施設外作業

- ・エコドーム運営（第3・4・5火曜日）
- ・洗車（市社協、可児市子育て健康プラザの公用車、くれよんの公用車）
- ・チラシのポスティング作業
- ・こころんカフェ（可児市福祉センター）
- ・出張カフェ（可児川苑等）
- ・除草、農作物収穫・選別

販売活動

市役所や企業で定期的な出張販売を行うとともに、健康フェアや地区センターまつり等のイベントに参加しました。

- ・地区センターまつりや地域の行事、健康フェア、他施設のイベントなどへの出店
- ・可児市役所への出張販売（第2金曜日）
- ・ほっとサロンゆい（広見地区センター内）へのクッキー納品
- ・注文票での予約販売（くれよんなどの公共施設や保護者などに注文票を配布）
- ・市内の企業（㈱デンソーワイズテック）での販売（月1回）
- ・市内外の喫茶店などでの委託販売

行事

- ・余暇活動（８月１４日）
- ・ふれあいまつり（９月２１日）
- ・ふれあい運動会（１１月１６日）
- ・クリスマス会（１２月２３日）

利用者の健康管理

- ・体重、血圧測定の実施（毎月初旬）
- ・健康診断の実施（７月）
- ・嘱託医による内科健診の実施（２月）

２ ふれあいの里可児生活介護

障がいに応じた日常生活や、社会生活を送ることができるよう食事や入浴、排泄等の介助を行うとともに、軽作業等の作業活動や創作的活動の機会を提供しました。

2-1 支援班（財源：障害福祉サービス費等 23,622,047 円）

常時介護を要する方に日常生活上の支援を行いました。また、希望者には特殊浴槽を用いた入浴介助（１回あたり 500 円）や自宅までの送迎（1Km あたり 10 円）を行いました。

利用状況

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
利用登録者数	16 人	16 人	15 人
延べ利用者数	1,641 人	1,654 人	1,532 人

※1 日の利用定員は 10 人

特殊浴槽による入浴サービスの実施。延べ 482 人（希望者 8 人 週 1～2 回利用）。

活動内容

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| ・音楽療法（毎週月曜日） | 音楽療法士 1 人、利用者全員による集団セッション |
| ・理学療法（月 2 回、火曜日） | 理学療法士 1 人、利用者 8 人/回、15～20 分/人 |
| ・個別支援 | 散歩、ストレッチ、楽器演奏、音楽鑑賞等 |
| ・レクリエーション | 外出活動、おやつ作り、工作、ゲーム等 |

行事

- ・クリスマス会（１２月２３日）

利用者の健康管理

- ・体重、血圧測定の実施（毎月初旬）
- ・健康診断の実施（７月）
- ・嘱託医による内科健診の実施（２月）

2-2 生活班（財源：障害福祉サービス費等 19,177,371 円）

レクリエーションを取り入れながら療育的な活動や作業活動を行いました。希望者への自宅送迎を引き続き行いました（1Km あたり 10 円）。

利用状況

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
利用者数	10 人	10 人	10 人
延べ利用者数	1,864 人	1,915 人	1,882 人

※定員：10 人

作業活動

利用者の能力及び適性に応じた作業の場を提供しました。出勤日数、作業活動参加時間にあわせて工賃を支給しました（月額平均 4,195 円。年度末一時金を含む）。

- ・自動車部品のバリ取り、牛乳パックやアルミ缶の回収・分別・納品
- ・食用油の吸収材「すいとりくん」の製作
- ・サロンや委託販売先へのクッキー納品

療育的活動

- ・音楽療法（毎週金曜日） 音楽療法士 2 人、利用者全員による集団セッション
- ・理学療法（月 2 回、火曜日）理学療法士 1 人、利用者 8 人/回、15～20 分/人
- ・レクリエーション 外出活動、おやつ作り、工作、ゲーム等

販売活動

食用油の吸収材「すいとりくん」などは、各種イベントや行事等で、注文販売、委託販売を行いました。

行事

- ・余暇活動（8 月 14 日）
- ・ふれあいまつり（9 月 21 日）
- ・ふれあい運動会（11 月 16 日）
- ・クリスマス会（12 月 23 日）

利用者の健康管理

- ・体重、血圧測定の実施（毎月初旬）
- ・健康診断の実施（7 月）
- ・嘱託医による内科健診の実施（2 月）

➤ 関連事業

1 岐阜県共同募金会可児市支会の運営

10月1日から12月31日までの間、市民の皆さんによる地域福祉活動を支援するための「赤い羽根共同募金」と、新たな年を迎える時期に支援を必要する人たちが、地域で安心して暮らしていただけるように応援する「歳末たすけあい募金」を、1世帯あたり600円を目安として協力をお願いしました。

※実績額は岐阜県共同募金会への報告額です。(令和6年2月1日～令和7年1月31日)

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
募金実績額	12,224,847 円	12,684,859 円	13,301,333 円

2 日本赤十字社岐阜県支部可児市地区の運営

岐阜県支部可児市地区として、赤十字社の理念のもと、会費・義援金の募集、被災者支援、献血推進活動、救急法講習等を行いました。

また、可児市赤十字奉仕団事務局を運営しました。

(1) 会員（協力会員）・会費

区 分	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	会員数	会費実績額	会員数	会費実績額	会員数	会費実績額
個 人	17,824 世帯	8,912,234 円	18,836 世帯	9,416,338 円	20,132 世帯	10,068,465 円
法 人	99 法人	1,025,000 円	106 法人	1,060,000 円	106 法人	1,075,000 円
寄 付		11,000 円		21,251 円		115,000 円
合 計		9,948,234 円		10,497,589 円		11,258,465 円

(2) 義援金・救援金

被災者支援のために、日本赤十字社を通じ義援金・救援金を募りました。

義援金・救援金額：2,310,629 円（令和6年4月1日～令和7年3月31日受付分）